



佐見中だより



メッセージ

校長

「なんかわからんけど緊張しました。」(佐見中3年生)

「すぐに感想が言えないくらいすごかった。」(佐見小6年生)

「来年は私もあの中で歌えるのかなあ〜って心配です。」(佐見小6年生)

公民館祭りの日、ぬくもり館(中学校の3階)で佐見小の5・6年生に中学生の合唱を聴いてもらいました。これはその直後に中学生と小学生から聴いた感想です。

当日は小学生も歌舞伎で公民館祭りに出演しました。そのため、中学生の合唱をその場で聴くことができませんでした。そこで小学校から「中学生の合唱を聴かせてください。」というありがたいリクエストをいただき、急きょ、合唱披露会が開催されたわけです。

公民館で地域の方々に合唱を聴いていただいた時も、私たちには大きな緊張感がありました。それは私たちに注がれる温かい励ましと熱い応援に対するものでした。しかし、小学生を前にした生徒が感じた「なんかわからん緊張」というのは、それとは違うものだったはず。ただ私は、中学生が小学生を前に歌うときも緊張感を持って歌うことができたということを楽しんでいます。緊張感をもって歌ったということは、そこに小学生へのメッセージが込められていたと思うからです。そしてそのメッセージを小学生はちゃんと受け止めてくれました。それが冒頭の小学生の感想に表れていると思うのです。

当然のことですが、毎年、佐見中の生徒は替わっていきます。しかし、生徒は替わっても合唱に向かう佐見中の心はいつまでも変えることなく受け継いでいきたいと思っています。

公民館祭り



地域の方々への感謝の気持ちを込めて歌いました。

CBC 子ども音楽コンクール中部日本ブルック大会もがんばります。

バスケット部秋季市郡大会



予選リーグ2敗という残念な結果になりました。シュート力とディフェンスのリバウンド力のアップを図り、春にはリベンジです。

学校公開日



日頃の「授業づくりの成果」をたくさんの方々に参加いただきました。ありがとうございました。



卓球部練習会



練習会や講習会に参加し、公式戦にむけて練習をがんばっています。

様々な備品の購入ありがとうございます。

